

インテリア計画（共通科目）

教 科	工業（建築インテリア）	単位数	2	学科・学年	建築インテリア科 2年
使用教科書	インテリア計画（実教出版）				
副教材等	担当教員が配布するプリント				

「インテリア計画」はどんな科目？

インテリア計画に関わる基礎から専門分野までの内容を幅広く取り上げています。それは専門的なことで構成するのではなくインテリアに関する内容をより広い立場で取り扱い、私たちの生活全般との関連性を持つように内容が構成されています。

「インテリア計画」の学習の特徴は？

3年間で学習する「製図」・「建築計画」「インテリアエレメント生産」・「インテリア装備」・などの建築やインテリアに関する科目のほかに「工業技術基礎」や「課題研究」、「実習」などとも関連をつけ、学びやすいよう構成されています。

「インテリア計画」で大切なこと（留意点）は？

インテリア計画の学習を通じて、皆さん一人ひとりが生活の質について考え、建築やインテリアに関する仕事や関連する資格等に興味を持つことができるような授業への取り組み姿勢が大切です。興味を持つことが内容をより深く理解し身につく一番の近道です。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	月	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い	
1 学 期	4	第1章 インテリア計画の概要	インテリア計画を学ぶにあたり、まずインテリアとは何か、建築との違い、生活との関係、インテリアを考える際に考慮すべき点など、おおまかなイメージをつかめる。	
	5	第1節 インテリアの概念		
		第2節 インテリア計画		
				＜中間考査＞
	6	第3節 生活と住まい		＜期末考査＞
		第4節 住まいの性能		
	7	第2章 インテリアの造形と心理		
2 学 期	9	第1節 人間の感覚・知覚と造形	インテリアデザインにおいて、形態・色彩・テクスチャー・空間などの造形要素が、人間の心理にどのように働きかけているか次の①、②を具体的に考察できる。 ①人間の感覚の特徴、感覚の刺激となる造形要素 ②形態、色彩とテクスチャー、空間	
		第2節 形態		
		第3節 色彩とテクスチャー		
		第4節 空間の認知		
		第5節 空間行動の諸相		
		＜中間考査＞		
3 学 期	10	第4章 インテリアと人間工学	人間工学とは何か。人間工学がインテリアを設計するための有効な手段としてどのように役立つかについて学習する。	
		第1節 人間工学		
		第2節 人体寸法		
				＜期末考査＞
3 学 期	12	第3節 動作・作業域・動作空間		
		第4節 インテリアへの応用		
		第5節 インテリアの安全		
		＜学年末考査＞		

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	授業に取り組む姿勢ができており、インテリア計画の各章で学ぶそれぞれの項目に対して、関心をもって意欲的に参加することができる。	・授業準備 ・授業態度 ・出席状況
思考・判断・表現	プリント課題などに取り組む際、学習した内容を活かし問題解決のために思考し、適切に表現をすることができる。	・定期考査 ・授業ノート ・質疑応答
技能	学習した内容をノートに表や図を丁寧に、美しくかける。また、定期考査で適切に解答を導き出すことができる。	・定期考査 ・授業ノート
知識・理解	各章終了後の学習課題と学期末の考査の中で、学習したことの内容を理解している。	・定期考査 ・授業ノート

また、1年間の評定は、1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

学習したことが、単なる知識で終わるのではなく、実習などの実技の授業や、普段の生活に活かしていけることが大切です。
毎時間の取り組みの態度、授業のノートづくりを特に大切にしています。